

1. 技術提案の名称	溶融スラグの再資源化有効活用(ふとん箆工中詰材料)技術
2. 有効利用技術の区分	
①処理方法	<input type="checkbox"/> 無処理 <input type="checkbox"/> 分別 <input checked="" type="checkbox"/> 破砕 寸法： <input checked="" type="checkbox"/> 300mm 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 300mm 以下 <input type="checkbox"/> 40mm 以下 <input type="checkbox"/> 20mm 以下 <input type="checkbox"/> その他 破砕方法（大型破砕機による破砕） <input type="checkbox"/> その他
②用途	<input type="checkbox"/> コンクリート骨材 <input type="checkbox"/> 盛土材 <input type="checkbox"/> 埋戻し材 <input type="checkbox"/> 路盤材
③その他	
3. 技術の内容	
<p>①基本的考え方</p> <p>一廃・産廃焼却灰を電気抵抗炉により還元溶融して再資源化した溶融スラグを河川海岸護岸工事の材料として有効に利用促進する。工期の短縮を図るためにかごマットの中詰材料と組合せる。</p> <p>②対象とするコンクリートがれき</p> <p>1 かごマット工の中詰め材料にする場合。……………溶融還スラグ 200mm～150mm</p> <p>2 高耐久性築堤マット工の中詰め材料にする場合。……………溶融還スラグ 300mm～200mm</p> <p>③技術の概要(処理方法、使用材料、機械設備等)</p> <p>1 溶融スラグの比重が重い、角張っている為転がりにくい等の特徴がある。</p> <p>2 廃棄物の有効利用で環境にやさしい。</p> <p>3 低密度ポリエチレン被膜線材の特徴である高耐久性、高強度、未着性、環境性、施工性に優れているかご工である</p> <p>4 現場施工、工場製作等が可能であり施工期間短縮につながる。</p> <p>④本技術を活用し、得られた目的物の性状等</p> <p>特殊ポリエチレン被膜線材の耐久性検証</p> <p>①接着性……………十分な接着強度を有していることを確認</p> <p>②耐摩耗性……………通常の垂鉛めっき鉄線に比べ摩耗率が18倍すぐれている</p> <p>③耐塩水性……………塩水噴霧10,000時間後、発錆等の変化はない</p> <p>④耐硫酸性……………耐塩酸性・耐硫化性・薬品浸漬試験結果、浸漬による外観の変化はない</p> <p>⑤耐燃焼性……………たき火試験により、たき火等により被膜材の燃焼が広がらない事が確認された。</p> <p>⑥耐候性……………促進暴露試験装置(WS-A)にて12,000時間(屋外暴露60年相当)照射後も変化が無い。</p> <p>⑤利用先・用途(実績等)</p> <p>1 溶融還元石 安城市内郷東川、名古屋市香流川</p> <p>2 リーフマット 和歌山県、熊本県、宮崎県、高知県</p> <p>⑥特許・技術審査証明・NETIS登録状況等</p> <p>なし</p> <p>⑦コスト</p> <p>未定</p>	

実証試験を行う場合の体制

溶融スラグ製造会社：大太平洋金属㈱<http://www.pacific-metals.co.jp/>

各大学や試験機関との共同試験を行う。

*必要に応じて、概念図、解説の追加して説明資料を添付してください。

*特許の有無、実証データの有無については、該当する場合はチェック「」をお願い致します。

*様式は、自由とし各項目が記載されていれば数ページでも可とします。

応募者(応募グループ)名称	溶融スラグ石材研究会 大太平洋金属株式会社	
住所	〒031-8617 青森県八戸市大字河原木字遠山新田 5 - 2	
TEL・FAX	TEL : 0178-47-7251	FAX : 0178-47-7255
E-mail	E-mail : t-yamada@pacific-metals.co.jp	
担当者	大太平洋金属㈱ 環境事業部 山田太郎	